

# 15年度 県近代文化功労者

上田祐規氏 **私学教育の振興貢献**  
 故高木惣吉氏 **戦争早期終結に奔走**  
 故小山 秀氏 **世界遺産施設を施工**

県教委は26日、2015年度の県近代文化功労者3人を発表  
 した。顕彰者は、鎮西中高・真和中西の学校長で、私学教育の  
 振興に努める上田祐規氏(85)＝熊本市、人吉市出身の軍人で太  
 平洋戦争の早期終結に奔走した高木惣吉氏＝1979年没・享  
 年85、天草市出身の大工・石工の棟梁で旧グラバー住宅など  
 を施工した小山秀氏＝1898年没・享年69。

顕彰は1948年度  
 に開始。県出身か在住  
 者で、教育や芸術、産  
 業など近代文化の発展  
 に貢献し、功績が顕著  
 な人物が対象。今回の  
 3人を含め、これまで  
 286人が選ばれてい  
 る。

県内の市町村教委や  
 文化関係団体などが33  
 人を推薦。7人の選挙  
 委員が3人に絞り込ん  
 だ。

顕彰式は11月14日、  
 熊本市中心部の熊本テ  
 ルサで。顕彰者の伝記  
 をまとめた功績集13  
 00部を作製し、県内  
 の小中学校や図書館な  
 どに配布する。

(飛松佐和子)

## 三角西港、旧グラバー住宅… 明治の近代化 下支え

県近代文化功労者に選ばれた故  
 小山秀氏は、三角西港、旧グラバ  
 ー住宅、端島炭坑(軍艦島)など、今  
 年7月に登録されたユネスコ世界  
 文化遺産「明治日本の産業革命遺  
 産」の多くの構成資産建設に関わ  
 り、日本の近代化に貢献している。  
 小山氏は天草郡御領村(現天草  
 市五和町)の富豪の家に生まれた。  
 幕末に長崎が自由貿易港として開  
 港すると、実兄が請け負った外国  
 人居留地埋め立て工事を助け、旧  
 グラバー住宅などの洋館や、大浦  
 天主堂を施工。高島炭坑の探掘請  
 負人として日本最初の洋式堅坑を  
 経営した。さらに端島炭坑の開発  
 に乗り出すが、莫大な借金を抱え、  
 失意のうちに帰郷する。

その後、三角西港建設などに関  
 与。天草第三高等小(現天草市有  
 明町)洋式校舎完成後に死去した。  
 小山家の財産を一代で消滅させは  
 したが、常に新事業に取り組んだ。  
 小山氏の玄孫に当たる、放送作  
 家の小山薫堂さん(51)は「秀のこ  
 とは小学生のとき親から聞いた。  
 墓参りの度に、自分も負けず頑  
 張ろうという気持ちになる。一度  
 は歴史から消えたが、再度名を刻  
 んでもらえてうれしい」と語った。

(山口純、園田昌也)

上田 祐規 (うへだ・ゆう  
 き) 1930年生まれ。福岡県行  
 橋市出身で大正大大学院修  
 了。学校経営者として中高一  
 貫教育や学科改編など先進的  
 な教育制度の導入に取り組ん  
 できた。スポーツ・産業人材  
 の育成にも貢献。



高木 惣吉 (たかぎ・そう  
 きち) 1893年生まれ。海軍大  
 学校を首席で卒業。同大教官  
 などを経て海軍少将。太平洋  
 戦争では終戦の実現へ向け要  
 人の説得などに尽力。戦後は  
 兵士の引き揚げなど戦後処理  
 にあたった。



(高木惣吉記念館提供)



(カトリック崎津教会提供)

小山 秀 (こやま・ひいで) 1828年生まれ。  
 長崎市の国宝・大浦天主堂、国指定重文・旧オル  
 ト住宅などを施工。明治三大築港の一つ三角西港  
 も小山氏率いる石工集団が手掛けたとされ、日本  
 の近代化に貢献した。